

防災マップとは

この八頭町防災マップは、鳥取県の発表した八東川と私都川が氾濫した場合の浸水の状況等と土砂災害特別警戒区域(基礎調査結果)及び土砂災害警戒区域(基礎調査結果)、地震ハザードマップ(ゆれやすさマップ)や町が指定する避難場所等の情報を示したマップです。

氾濫による着色がない地域でも、状況によっては浸水する恐れがありますので注意してください。洪水に対しては、事前の備えを行うことで被害を軽くすることができます。雨の降り方や浸水の状況及び土砂災害の兆候に十分注意し、早めの避難を心掛けましょう。

1 防災マップ地区詳細図(P 9~20)

- (1)洪水浸水想定区域図(100年確率)は、千代川水系八東川及び私都川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)この洪水浸水想定区域は、指定時点の八東川及び私都川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回の確率で起こると考えられる大雨が降ったときに、洪水により八東川及び私都川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては支川の決壊、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

作成主体	鳥取県
指定年月日	平成30年6月5日
告示番号	鳥取県告示第390号
指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
対象となる水位周知河川	千代川水系八東川・私都川
指定前提となる降雨	八東川流域の2日間の総雨量325mm 私都川流域の2日間の総雨量325mm
その他計算条件等	氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子に分割して、これを1単位として計算しています。地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。

- (4)土砂災害警戒区域(基礎調査結果)、土砂災害特別警戒区域(基礎調査結果)は、平成30年3月末時点の情報です。土砂災害警戒区域等の解説はP 4をご覧ください。

2 【浸水】各種想定図

- (1)千代川水系洪水浸水想定区域図(想定最大規模・家屋倒壊等氾濫想定区域)はP21~24に掲載しています。また、各種浸水想定区域図(100年確率・想定最大規模・家屋倒壊等氾濫想定区域・浸水継続時間)、各断層による地震の想定震度等は、ウェブ版八頭町防災マップでも閲覧できます。詳しくはP29をご覧ください。
- (2)「鳥取方式」洪水浸水リスク図は、八東川と私都川の水位周知区間以外の県管理河川について、鳥取県独自の簡易手法(「鳥取方式」)により、50年に1回の確率で起こると考えられる大雨が降ったときに、浸水する恐れのある区域を示したものです。詳細はP25~26に掲載しています。また、防災マップ地区詳細図では、浸水する恐れのある区域を線で示しています。